

# 同窓会報

第69号

【題字】書道部/日野 終也

【発行】黒川高等学校同窓会  
〒981-3685  
宮城県黒川郡大和町吉岡  
字東柴崎62

【TEL】022-345-2171  
【FAX】022-345-2172  
【編集】同窓会事務局  
【印刷】(有)中村印刷

## ご挨拶

黒川高等学校同窓会

副会長 小川 弘吉

同窓生の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい年をご健勝で過ごされたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日ごろより同窓会の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

創立以来、地域に根ざし、地域とともに歩んできた母校を取り巻く状況は、少子化による人口減少や地域経済の変化など、多様な課題を抱えております。生徒たちにとって学校は、さまざまな体験活動や情報提供を通じて、生きる力をも身に付ける場であり、家庭は安らぎの場であることが大切です。また、地域の方々とのつながりを深めることも重要であると考えます。学校・家庭・地域それぞれの役割を考え、心豊かに、他者に対する思いやりや社会的マナーを身につけ、健康に成長できるように努めていくことが大切だと思います。

同窓会活動を通して母校の発展に寄

与するとともに、会員相互の親睦及び向上を図り、母校の教育事業を支援するという目的のもと、自己研鑽に努め、お互いのできることから始め、そして楽しみましょう。

また、副会長として、公平公正を旨とし、開かれた同窓会運営に努め、誠心誠意取り組んでまいります。同窓生の皆さまには、今後とも母校ならびに同窓会に対し、一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。本年度が皆さまにとりまして、健康と笑顔に満ちた一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。ぜひ会報にもお目通しいたごき、ご意見やご叱咤を賜れば嬉しく思います。

## ご挨拶

校長 長田 晃明

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、今年度より着任しました長田と

申します。どうぞよろしくお願いいたします。また、今年度は、十人の先生方が新たにチーム黒高に加わりました。我々教職員一同、生徒のため学校のために一杯努力したいと考えております。

さて、本校は創立以来、校訓「公正・友愛・開拓」の黒高3F精神のもと、人間性に富み地域に貢献できる大切な人財の育成を目指し様々な教育活動を行っています。同窓生の皆様は、昭和二十四年の同窓会発足以来、常に本校教育活動を温かく応援していただいております。

今年度は、新たに普通科七十二人、機械科二十七人、電子工学科二十三人、環境技術科十一人の新入生を迎え、三百八十三人の全校生徒でスタートしました。本校での高校生活において、学習活動だけではなく生徒会や学校行事、部活動、地域連携活動及び資格取得などといった様々な経験をとおして、単に知識や技能・技術を習得するに留まらず、時代を担う魅力ある人間へと成長することを期待しております。

生徒の活動状況として、全国高等学

校文化連盟(全国高文連)第四十回全国高等学校文芸コンクール俳句部門入選、高校生ものづくりコンテスト溶接部門東北大会出場、全日本ロボット相撲大会2025決勝全国大会出場など、各部等において生徒達は活発に取り組んでいます。他に、地域貢献型活動として、トヨタ東日本の小学生対象プログラミング教室、大和町との橋梁点検、まほろば夏まつり出展、福祉施設でのボランティア活動、大和町議会とのまちづくり企画、環境技術科インターンシップなど、様々な分野において生徒達は積極的に活動しています。

これまで以上に、全ての問題を学校や教育行政だけで解決することが困難になっていきます。そのためにも、多様な生徒を誰一人とも取り残すことがないよう地域社会と連携・協働し、生徒と地域社会がつながった課題発見解決型学習等の探究的な学びなどが重要となります。自ら課題を発見し、情報を集め選択し、知識を活用し、他者と協働しながら解決を目指していくことで、自分のキャリアの方向性を見つめたり、資質を伸ばしたり、これからの社会で生きる力を身に付けていくことができると考えます。

同窓会の皆様におかれましては、引き続き本校教育活動への御理解、御協力及び御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、同窓会のみならずの御隆盛、並びに皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

# 令和七年度 同窓会総会

## 本部役員は次の通りです

- 会 長** 山路 義明  
(S四一年卒大衡支部)
- 副会長** 瀬戸 啓一  
(S四六年卒落合支部)
- 副会長** 小川 弘吉  
(S五四年卒吉田支部)
- 監 事** 渡辺 政志  
(S四三年卒大谷支部)
- 監 事** 庄司 正巳  
(S四六年卒吉岡支部)
- 監 事** 浅野 芳夫  
(S四八年卒富谷支部)
- 顧 問** 藤倉 知格  
(S四八年卒県議会議員)
- 顧 問** 佐々木末治  
(S三一年卒前会長)
- 顧 問** 本郷 貴志(元校長)
- 顧 問** 市川 敬行(元校長)
- 顧 問** 遠藤 俊樹(元校長)
- 参 与** 長田 晃明(現校長)
- 事務局 長** 勝部 宏明(教職員)
- 事務局** 三浦 葵(教職員)

## 議題

- (一) 令和六年度事業報告並びに収支決算報告について
- (二) 令和七年度事業計画並びに収支予算(案)について
- (三) その他

## 支部等は次の通りです

- ◆ 東京同窓会 ◆ 仙台支部
- ◆ 落合支部 ◆ 吉岡支部
- ◆ 大衡支部 ◆ 吉田支部
- ◆ 宮床支部 ◆ 粕川支部
- ◆ 富谷支部 ◆ 多賀城・七ヶ浜支部

## 現在休止中の支部

- ◆ 大谷支部 ◆ 利府支部
- ◆ 大松沢支部 ◆ 松島支部
- ◆ 鶴巣支部 ◆ 栃木県人会

七月二十六日(土)午前十一時より町内の遠藤旅館に於いて同窓会総会が開催されました。母校より長田晃明校長、佐々木寛征教頭、佐々木美幸事務室長に出席していただきました。

始めに山路同窓会会長より開会の挨拶があり、長田校長からは母校の近況報告を兼ねたご祝辞をいただきました。会則に従って、会長が議長となり、事務局より令和六年度事業報告並びに決算報告、令和七年度事業計画並びに収支予算案を原案のとおり承認していただきました。また、役員改選についても承認していただきました。

懇親会は、終始なごやかな雰囲気で行われ、昔懐かしい学生時代の話題や黒川地域の最近の変化、さらには後輩達の活躍の話題など、尽きることなく大いに盛り上がりしました。懇親会の最後は、母校の益々の発展を祈りながら散会いたしました。

## 【令和6年度 収支決算報告書】

収入の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	付記
1 会費	826,000	760,000	△ 66,000	
1) 終身会費	826,000	760,000	△ 66,000	@2,000×415名(1名未納) R5分3,000×1名 転学者返金代 @3年8,000×5名 @2年5,000×5名 @1年2,000×3名
2 繰越金	648,122	648,122	0	
3 雑収入	878	154	△ 724	利息
収入合計	1,475,000	1,408,276	△ 66,724	



【令和7年度 収支予算書(案)】

(単位: 円)

収入合計	支出合計	差引
1,493,000	1,493,000	0

※ただし科目間の流用を認めるものとする

## 【令和6年度 同窓会事業報告】

月日(曜日)	事業内容	場所
4月8日(月)	入学式	黒川高校 体育館
6月14日(金)	学校助成(陸上部東北大会出場)	福島とうほう・みんなのスタジアム
6月15日(土)	評議員会	同窓会館
6月16日(日)	落合支部総会	遠藤旅館
7月27日(土)	同窓会総会	遠藤旅館
8月27日(火)	吉田支部環境整備	館山公園
9月7日(土)	多賀城・七ヶ浜支部総会	多賀城市中央公民館会議室
11月16日(土)	仙台支部総会	ホテル白萩
11月30日(土)	東京同窓会総会 学校助成(高校生ロボット相撲全国大会出場)	上野 翠鳳 ビッグパレット福島
12月7日(土)	学校助成(全日本ロボット相撲全国大会出場)	東京両国国技館
2月28日(金)	同窓会入会式、支部長会議	黒川高校 体育館、同窓会館
3月1日(土)	卒業式 同窓会報 第68号発行	黒川高校 体育館 2,200部印刷(中村印刷)
3月26日(水)	監査・役員会	黒川高校 同窓会館

## 支出の部 (単位: 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	付記
1 事務諸費	300,000	81,148	△ 218,852	
1) 需要費	120,000	34,432	△ 85,568	ハガキ、送料、事務用品他
2) 旅費	180,000	46,716	△ 133,284	役員、事務局旅費
2 会議費	80,000	15,412	△ 64,588	
1) 総会費	50,000	4,704	△ 45,296	評議員会会場代
2) 役員会費	30,000	10,708	△ 19,292	役員会お茶代
3 事業費	780,000	351,878	△ 428,122	
1) 支部助成費	250,000	140,000	△ 110,000	各支部への助成金
2) 事業諸費	280,000	141,178	△ 138,822	会報発行、郵送費
3) 渉外費	10,000	7,700	△ 2,300	卒業アルバム
4) 学校(生徒)助成	240,000	63,000	△ 177,000	資格取得助成金(3)、陸上東北大会、ロボット全国大会助成
4 敬愛費	200,000	126,985	△ 73,015	
1) 歓迎費	120,000	110,985	△ 9,015	卒業生証書入れホルダー
2) 慶弔費	80,000	16,000	△ 64,000	支部総会御祝儀
5 負担金	5,110	6,000	890	産業教育振興協会負担金
6 車両借上等補助費	0	0	0	生徒遠征費補助
7 財源積立金	100,000	100,000	0	
8 予備費	9,890	0	△ 9,890	
支出合計	1,475,000	681,423	△ 793,577	

【収入合計】1,408,276 - 【支出合計】681,423 = 【差引残額】726,853  
(次年度へ繰り越し)

# 今年の活躍

## 全日本ロボット相撲大会に出場して

ロボット研究部1年

平山 琥次郎

私は今年の8月に行われた「高等学校ロボット相撲選手権2025北海道東北選手権」に同級生の椎川君と共に出場しました。入部して初めての大会ということで非常に緊張していましたが、先輩方から教わった知識を活かして各校との対戦に臨んだ結果、準優勝という好成績を収め、加えて全日本大会への出場権を獲得することができました。

全国大会へ臨む際は初めての全国大会ということと、大会のために東京まで行くことも初めての経験であったため、少し不安を覚えていましたが、周囲からの後押しや応援もあり心を決めて大会に臨むことができました。

12月の全日本大会当日は、補助員の先輩と共にブラジルのロボット相撲チームと対戦を行いました。相手チームの情報がどれだけ調べても出てこず、未知数の相手との対戦となりましたが、それでも自らの出せる力を尽くし、懸命に戦いました。結果は0対2の敗北となってしまいましたが、外国の方と交流する機会を得るとともに、初めての全国大会に出場し流れや雰囲気を感じることができ、今回の全国大会

出場という経験は、自分にとってもこれからのロボット研究部での活動にとっても非常に有意義な時間となりました。この大会で得た経験や反省点を活かしてより良い結果に繋がるよう努力していきたいと思っています。

大会に参加するにあたって援助していただいた先生方や同窓会の皆様にはとても感謝しています。大会出場のため協力していただき誠にありがとうございました。



## 学生賞を受賞して

写真同好会3年 熊谷 希颯

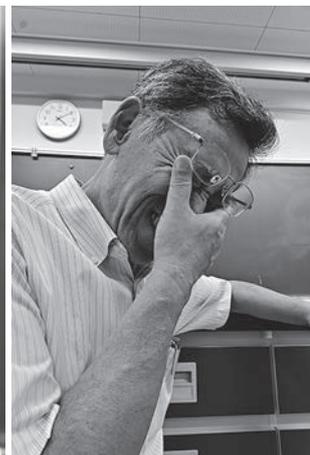
この度、私はエプソンフォトグランプリにおいて学生賞を受賞することができました。受賞の知らせを聞いたときは、大きな喜びと同時に驚きの気持ちでいっぱいでした。写真を撮ること以前から好きでしたが、自分の作品が評価され、賞という形で認めていただけるとは思っていなかったからです。

今回応募した作品は、日頃お世話になっている担任の先生を撮影した写真です。普段は何気なく接している先生の姿を、改めて写真として切り取ることで、真剣に生徒と向き合う表情や、いつもの優しい雰囲気表現したいと考えました。撮影にあたっては、構図や光の当たり方、表情の瞬を逃さないことを意識したり、顧問の先生にアドバイスを頂いたりなどし、何枚も撮影を重ねました。その中で、被写体の魅力を引き出すことの難しさと同時に、写真表現の奥深さを実感しました。

今回の受賞を通して、身近な存在であっても視点を変えることで新たな魅力を発



受賞作品



見できることを学びました。また、自分の感じたことを形にして伝えることの大切さや、努力を重ねることが結果につながるということも強く感じました。この経験を今後の自信とし、これからも物事を丁寧に見つめ、自分なりの表現を追求していきたいと思っています。

## 陸上競技部

### 宮城県春季陸上競技選手権大会

男子円盤投げ 赤間楓 第6位

### 宮城県高等学校総合体育大会 県大会出場

男子ハンマー投げ 齋藤海湊

男子円盤投げ 赤間楓

男子400mR 山田巧 佐藤達也

赤坂耀斗 渡邊宗亮

男子1600mR 山田巧 佐藤達也

門脇大翔 渡邊宗亮

### くりこま高原陸上競技選手権大会

男子円盤投げ 赤間楓 決勝進出 第2位

## 男子テニス部

### 宮城県高等学校総合体育大会

男子団体 1回戦

黒川 0-2 仙台第一

## 男子バレーボール部

### 大崎地区総体

1試合目 黒川 2-0 加美農業

2試合目 黒川 0-2 古川工業 第3位

### 宮城県高等学校総合体育大会

1試合目 黒川 0-2 泉

## 女子バレーボール部

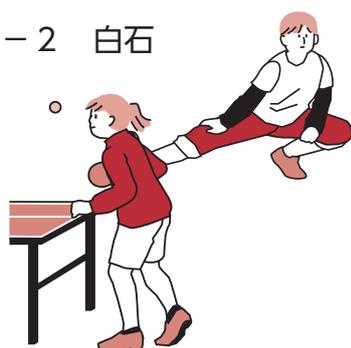
### 宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 黒川 0-2 仙台南

### 全日本バレーボール高等学校選手権大会

#### 一次予選

1回戦 黒川 0-2 白石



## 硬式野球部

### 春季宮城県高等学校野球北部地区大会

予選第一試合

黒川・古川黎明・迫桜連合 1-5 利府

予選第二試合

黒川・古川黎明・迫桜連合 6-8 古川学園

### 全国高等学校野球選手権大会宮城大会

一回戦 四校連合 5-6 仙台高専名取

(9回サヨナラ)

### 秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

一次予選

五校連合 2-13 東北学院榴ヶ岡

二次予選

五校連合 3-1 築館

二次予選 代表決定戦

五校連合 2-8 加美農業

## サッカー部

### 春季大崎選手権 第3位

### 宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 黒川 0-6 利府

### 全国高校サッカー選手権宮城県大会

1回戦 黒川 3-1 白石

2回戦 黒川 1-3 東北学院榴ヶ岡

## 男女卓球部

### 宮城県高等学校総合体育大会

女子団体戦出場

女子シングルス 岩佐柚 ベスト64

### 全日本卓球選手権大会ジュニアの部 宮城県予選

女子シングルス 岩佐柚、加藤夢果 出場

### 宮城県高等学校新人卓球大会

男子団体戦出場

女子団体戦出場

女子シングルス 岩佐柚、加藤夢果、

瀬戸悠子 出場

## ロボット研究部

全日本ロボット相撲大会2025

北海道東北選手権

ラジコン型 ステーキ2号

平山琥次郎、椎川結心 **第2位**

全日本ロボット相撲大会2025 決勝大会

ラジコン型 ステーキ2号

平山琥次郎、横田龍青 初戦敗退

## 書道部

ふれあい書道展

後藤るな 伊藤愛瑠 **特選**

全国小中高川開書道展

樋渡優菜 細川苺夏 **準大賞**

## 美術部

泉・黒川地区高等学校美術展

奥山桃葉子 **優秀賞・特別賞**

小原咲彩、小林優姫、山本莉音、甲斐基新  
**奨励賞**

## 吹奏楽部

日本管楽合奏コンテスト予選審査会

高校生S部門 **優秀賞**

## 写真同好会

エプソンフォトグランプリ 熊谷希颯 **学生賞**

全日本写真連盟南東北ブロック主催2025

松島モデル大撮影会

阿部蒼空、浅見隼人 **高校生の部 入選**

## 囲碁・将棋同好会

全国高校将棋選手権宮城県予選大会男子C級

榊原 涼 6勝0敗 **第2位**



## 男子バスケットボール部

高校総体大崎地区予選

黒川 72-54 小牛田農林

決勝トーナメント

準決勝

黒川 36-107 古川学園 **第3位**

宮城県高等学校総合体育大会

1回戦 黒川 60-119 仙台商業

## 男女バドミントン部

大崎・石巻地区総合体育大会

女子ダブルス **第3位**

瀬戸瑠音・永山ありや

男子団体戦 **第4位**

女子団体戦 **第4位**

宮城県高等学校総合体育大会

男子学校対抗戦

1回戦 黒川0-3 仙台東

女子学校対抗戦

1回戦 黒川3-0 仙台工業

2回戦 黒川0-3 塩釜

## 柔道部

大崎・登米栗原地区総体柔道競技大会

男子重量級 白石恵雅 **第3位**

宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会

男子100kg級 白石恵雅 1回戦敗退

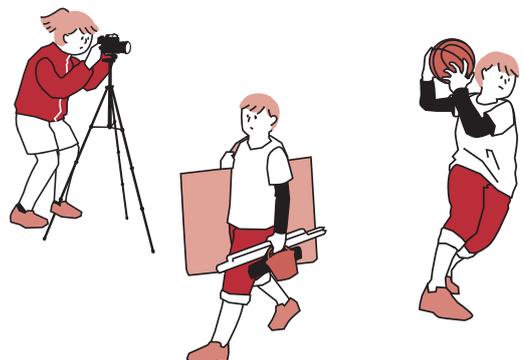
## 剣道部

宮城県高等学校総合体育大会

男子団体 予選敗退

男子個人

鈴木悠大 佐川遥人 1回戦敗退



# 各支部の活動

## 東京同窓会開催報告

今年も恒例の東京同窓会総会を、上野駅至近にあります中華料理店で11月29日に開催いたしました。本部より山路会長様をお迎えし総勢18名が集う温かいひとときとなりました。初めに皆で校歌を熱唱、山路会長様より母校の近況、郷土の昨今についてお話しいただき、止まらない定員割れ、里山の荒廃に一同頷いておりました。その後事務報告に続き乾杯、懇親会へと移りました。

年々会員の高齢化が進み「あと何年続けられるのだろうか」との不安も感じる昨今ですが同窓生一同、互いに励まし合いながら、今年も元気に結束を確認することができました。

最高齢は93歳の齋藤西夫大先輩。今年も変わらずはせ参じくださり、そのお姿に私たちも大いに勇気づけられました。参加者の半数が80歳台、残りの方々も70歳台ですが年齢を感じさせない笑顔と元氣あふれる会話で会場は終始和やかでした。

懇親会も佳境に入るや早坂先輩の三味線に合わせ「黒高音頭」、「郷土民謡」を合唱し故郷に思いを馳せ、懐かしい日々を語り合う貴重な時間となりました。

こうして毎年集えることのありがたさを噛みしめながら、同窓生の絆を大切に、これからも少しずつでも会を続けていきたいと心を新たにしました。

東京同窓会会長 渋谷 豊樹



## 仙台支部総会開催

令和7年11月15日(土)「ホテル白萩(仙台市青葉区)」を会場に総会、懇親会を開催しました。

同窓会本部より山路義明氏をお迎えし、初めに出席者の記念写真の撮影をしました。

櫻井辰次事務局長(昭41卒)の司会で始まり、出席者全員で萬忠一郎副支部長(昭39卒)の指揮のもと、母校黒川高等学校の校歌を録音されたテープの伴奏で高らかに歌いました。続いて総会に入り、支部長(昭41卒)の挨拶、山路会長から母校の現状等の様子を含め祝辞をいただきました。総会では、事業報告、決算報告及び事業計画案・予算案、役員を選任案で提出した議案はすべて承認可決されました。その後、顧問の浅野氏(昭37卒)の乾杯の挨拶で懇親会に入り、アトラクションとして、文部大臣賞を受賞された「江戸芸かっぱれ」の伝統芸能伝承の披露をいただき鑑賞しました。最後に来年の総会・懇親会への参加者の増加を誓い閉会となりました。

支部長 清水 信市



## 吉田支部総会開催

吉田支部は総会を7月5日に開催し、参加会員の承認を頂き全ての提出議案が可決されました。また、役員改選にあたり、2名の役員が新たに加わり新風を期待します。

本総会にご臨席の山路会長にご挨拶を頂き本校の近況について、特に、各分野での生徒達の活躍は歓喜の極みであり、社会的な実情による生徒数の減少は喫緊の課題です。

懇親会では時代の垣根を越えて、在学時の思い出で盛会となり、多かれ少なかれ、これまでの人生に影響を及ぼした時代であったと共有し閉会に至りました。

また、私事ですが、本校に度々会議等で伺った際に、対面した生徒達から「こんにちは」と挨拶を頂いております。ただ、それだけの事ですが、この事を在学時の私に問いかけたら、何事もなく「スルー」していた情けない自分が思い浮かびました。

心ある生徒達に挨拶を頂いた私は気持ちの良い一日を過ごし、その余韻は今も残っています。「当たり前前」ことをあたり前にすることとは極めて大切なことです。謙虚で素直な生徒達に接する機会をまた楽しみにし、本校の充実発展に微力ながら努めさせていただきます。

支部長 堀田敏幸



## 短信

傘寿も過ぎ、まだ野球を楽しめることに喜びを感じております。毎朝ジョギングとストレッチ、バットスイングを行い、体力づくりをしています。しかし最近ではクマの出演により近場でのいでのあります。

熊合喜久雄 (昭和37年卒)

## 還暦軟式野球で頑張ってます！ 監督 熊谷 喜久雄

私も黒川野球クラブは結成以来宮城県還暦軟式野球連盟に加盟して7年目でBランクからようやくAランクに昇格、今年は念願の群馬県太田市で5月に行われた東日本地区大会に出場しました。

さらに、今年度行われた春季リーグ戦(全国大会予選会)において、第3位に入賞し、来年9月には大分県で開催される、全日本還暦軟式野球選抜大会に宮城県代表として出場することになりました。選手の皆様は毎週土曜日を練習日とし体力づくりに頑張っています。

興味のある方は、健康保持のため、是非とも加入されますよう、待っています。



## 「史跡保存」の一環として

吉田支部事業として、昨年より涼しく感じられた8月31日に、館山公園環境整備を休日の貴重な時間を割いてご協力頂いた会員により、主に、公園内の草刈り作業及び、景観上の課題であった頂上からの視界の確保にあたる伐採作業を行いました。

当初の目標とする頂上全面からの展望には至っていませんが、「これは無理をせず徐々に」と…。ただ、視界が若干良好になったようにも感じます。

今後とも、可能な範囲内で会員のご協力を頂きながら、「史跡保存」の一環として、環境整備事業を推進して参りたいと思います。



## 【モンゴル国との出会いと理科教育支援に寄せて】

東京同窓会会長 渋谷 豊樹

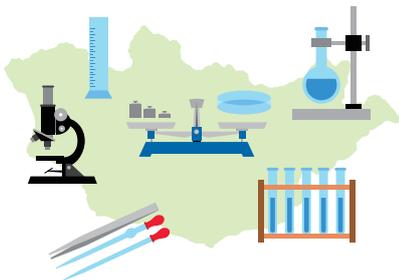
昭和43年卒業の渋谷豊樹と申します。母校を卒業してから早くも半世紀以上が過ぎました。このたび東京同窓会会長として、また一卒業生として近況をお伝えできる機会をいただき、感謝申し上げます。母校で培われた学びや友情、そして先生方から賜った温かなご指導は、今なお私の人生を支える礎となっております。

私は2017年より、NPO法人の活動を通じてモンゴル国を毎年訪問し、中等教育における理科教材開発支援事業の事務部門に携わっております。モンゴルでは、理科教育は座学が中心で、実験指導は十分に重視されていない現状があります。そこで、中学・高校の理科実験に使用する器材を日本の専門家の指導のもと現地の先生方と共に製作し、地方の学校へ配布するまでのカリキュラムを整え、理科教育の充実を目指して活動しています。

モンゴルは日本の約4倍の広大な国土を有し、人口は約330万人。その半数が首都ウランバートルに集中していま

す。公用語はモンゴル語で、表記はキリル文字（ロシア文字）を使用しています。日本との関係は非常に友好的で、若い世代を中心に日本語学習の熱が高く、大相撲で活躍するモンゴル出身力士の影響もあって、相撲は現地でも大変人気があります。近年は日本からの直行便も就航し、人的・文化的交流が一層深まっています。

この活動を通して感じるのは、母校で育まれた「学びを社会へ還元する精神」の大切さです。半世紀を経てもなお、その教えが私を動かし続けています。今後も、次代を担う若者たちの理科教育の発展に、微力ながら法人の一員として貢献してまいりたいと考えております。そして、母校のさらなる発展と、同窓生の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



# 卒業生の進路状況

## 過去2年間の進路状況

令和6年度(昨年度)

種別	就職	公務員	大学・短大	専門学校	その他	合計
内定者(人)	92	3	16	38	0	149
未定者(人)	0	0	0	0	2	2
決定率(%)	100	100	100	100	0	99

令和7年度(令和8年1月13日現在)

種別	就職	公務員	大学・短大	専門学校	その他	合計
内定者(人)	66	6	15	18	2	107
未定者(人)	4	0	0	0	2	6
決定率(%)	94.3	100	100	100	50	94.7

## 主な進路先

大学・短大等 合格者数(延べ人数)

大学		計
県内	東北学院大学	3
	東北福祉大学	1
	仙台大学	1
	宮城学院女子大学	1
	東北工業大学	2
	石巻専修大学	1
	昇 國學院大學	1
合計		10
短期大学等		計
県内	聖和学園短期大学	2
	東北生活文化大学短期大学	1
	仙台青葉学院短期大学	1
	昇 福島学院大学短期大学	1
合計		5

看護系学校合格者数(延べ人数)

大学校・高等技術専門学校	計
葵会仙台看護専門学校	1
合計	1

大学校・高等技術専門学校合格者数(延べ人数)

大学校・高等技術専門学校	計
宮城県立仙台高等技術専門学校	1
合計	1

専修・各種学校合格者数(延べ人数)

専修・各種学校		計
県内	仙台リハビリテーション専門学校	1
	仙台スイーツ&カフェ専門学校	2
	SENDAI中央理美容専門学校	1
	仙台大原簿記情報公務員専門学校	1
	専門学校東北動物看護学院	2
	仙台ECO動物海洋専門学校	2
	仙台ビューティーアート専門学校	2
	仙台理美容専門学校	2
	仙台医健スポーツ専門学校	3
	合計	16

就職内定者数(実数)

事業所名		計
管内	株式会社 コバヤシ 東北工場	2
	株式会社 イズミテクノ	2
	トヨタバッテリー株式会社 宮城工場	2
	日本テクノカーボン 株式会社	1
	ラクダ運輸 株式会社	1
	トヨタ紡織東北 株式会社	1
	株式会社ワイ・デー・ケー 宮城工場	2
	株式会社 キタセキ	1
	公益財団法人 宮城県環境事業公社	1
	グローテック株式会社	1
	ワールド開発工業 株式会社	1
	仙台営業所	1
	白石食品工業株式会社 仙台工場	2
	株式会社 信和	1
	山田車体工業 株式会社 仙台工場	2
	トヨタ自動車東日本 株式会社	4
	トーカロ 株式会社	1
	アイシン高丘東北 株式会社	1
	仙台小林製薬 株式会社	1
	株式会社 バイタルネット 宮城物流センター	1
	スズデン株式会社	1
	宮城建設工業 株式会社 富谷支店	2
	CKD 株式会社	2
	株式会社 C&D	1
	JU宮城 宮城県中古自動車販売 商工組合	1
	株式会社 ササキ 宮城本部	2
社会福祉法人 みんなの輪	1	
諸星運輸株式会社	1	
管内計	39	



事業所名

事業所名		計
仙台	株式会社 仙台村田製作所	2
	株式会社 ヒメノ	1
	東北発電工業 株式会社	1
	東北電力ネットワーク 株式会社	1
	株式会社 三浦組	1
	医療法人 明徳会 青葉デンタルクリニック	1
	株式会社 紀生	1
	株式会社 利久	1
	西濃運輸 株式会社 仙台支店	1
	日本ファインセラミックス 株式会社	3
	仙台臨海鉄道株式会社	1
	TOPPAN/パッケージ プロダクツ株式会社仙台工場	1
	仙台ガスサービス株式会社	1
	仙台計	16
県内	東北大電電気 株式会社	1
	アイリスオーヤマ 株式会社	1
	株式会社 王将フードサービス(餃子の王将)	1
	株式会社 パンセ	1
	アルプスアルパイン株式会社 仙台開発センター(古川)	1
	株式会社 薬王堂	1
	県内計	6
昇 セントラル警備保障株式会社	1	
県外計	1	
縁故	小野光商事株式会社	1
	株式会社SEALS	2
	株式会社インテライズ	1
縁故計	4	
就職者合計	66	

公務員合格者数(延べ人数)

職種	計
宮城県警察	1
大和町職員(行政)	1
自衛官一般曹候補生	4
合計	6

## 事務局からのお知らせ

令和八年度は、六月に拡大役員会、七月最終土曜日に総会が開催されます。多数のご出席をお願いいたします。詳細はホームページに掲載いたします。

## 同窓会報のホームページ掲載について

黒川高等学校のホームページ内に、同窓会の欄を設けました。同窓会報については、そちらにも掲載しますので活用ください。



## 同窓会報の配付方法について

同窓会報は各支部の中で配付を行ってきました。しかし、個人情報保護法が施行されてから、住所等を登録しない会員もおり、各支部で会報の配付が困難になってきております。自宅への郵送を希望される方は、送料百十円分の切手を貼付した返信用封筒を事務局まで送付してください。

## 事務局からのお願い

同窓会報への寄稿を募集しています。同級会開催の案内（日程・問い合わせ先等）や同級会の報告、叙勲の情報などがありましたら事務局までお知らせください。

●様式は不問です

●「氏名、卒業年、住所、電話、掲載してほしいこと」をお知らせください。

●連絡方法：郵便、FAX

●連絡先：宮城県黒川高等学校同窓会 事務局長 勝部 宏明  
〒九八一三六八五 宮城県黒川郡大和町吉岡字東柴崎六一

【電話】〇二二三四五二二七二

【FAX】〇二二三四五二二七二

## 令和六年度の教職員の異動

### 転出職員（職・氏名・異動先）

校長	遠藤 俊樹（退）	職
教頭	熊谷 崇（県第二工業高）	
教諭	梶原雄一郎（富谷高）	
教諭	松平恵美子（泉高）	
教諭	村上 誠（県工業高）	
教諭	持立 由奈（名取北高）	
実習講師	鈴木 庸明（古川工業高）	
主任主査	佐尾 恭子（県図書館）	
事務次長	小野寺 愛（広瀬高）	
主事	清野 純平（県教育庁）	

### 転入職員（職・氏名・前任校）

校長	長田 晃明 （総務部私学・公益法人課）
主幹教諭	八島 俊直（仙台三桜高）
教諭	天野 綾子（宮城第一高）
教諭	早坂 和真（迫桜高）
教諭	伊藤 拓馬（新規採用）
実習講師	澁谷 克彦 （登米総合産業高）
事務次長	佐々木英樹（富谷高）
主幹	渡邊 いと（泉高）



## 編集を終えて

事務局 三浦 葵

事務局としてこの後もより読みやすい紙面の作成を心がけていきたいと考えておりますので、会報についてご要望やご意見がありましたらお寄せください。また、各支部の様子だけでなく、同級会のお知らせや、部活動OB会などたくさん情報をお待ちしております。